

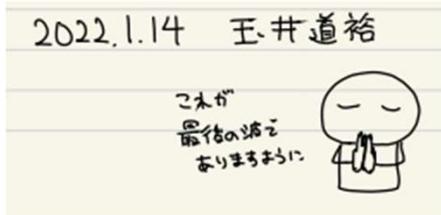


No.851 令和4年(2022)1月24日(月) 2022-4号
発行責任者:院長 澤田勝寛
isonare@ka2.so-net.ne.jp

◆コロナ関係

オミクロン感染は拡大の一途。ついに日本も累計で200万人を越えました。国民の60人に1人が感染したことになります。感染力が強いのが問題ですが、重症化が少ないのが救いです。

諏訪中央病院の玉井道裕先生が、オミクロンの特徴について分かりやすくまとめられ、HPで公開されています。いつもながらの手書きの文字とをイラストは読んでいて心が和みます。



<https://www.suwachuo.com/pdf/omicron.pdf>

◆献血にご協力ください

日時:1月26日水曜 14:15~16:30
場所:新須磨ホール

コロナ禍のため献血が不足しており協力しています。パンデミックが始まって、今回で5回目となり日赤からはとても感謝されています。

ワクチン接種後48時間経過しておれば献血は可能です。協力をお願いします。



昨日は今日の古(いにしえ)へ
今日は明日の昔 閑吟集

今日からみれば昨日は遠い過去
明日からみれば今日のはるかな昔
ときの移ろいの速さを表している言葉です。
コロナ禍のいま、実感しています。

◆今週の院長予定

1月24日	月	8:00運営会議、9:00~12:00救急担当、13:00シルバーカレッジ、17:30薬審、18:00治験委員会
1月25日	火	9:00外来、14:00手術、17:30業務改善委員会
1月26日	水	松江
1月27日	木	9:00~11:00来客
1月28日	金	9:00外来、14:00来客、コロナ会議
1月29日	土	9:45新須磨クリニックで健診業務

◆私の本棚 分水嶺

河井香織 岩波書店

今回の新型コロナウイルス対策のために立ち上げられた「専門家会議」の成り立ちから活動そしてこのメンバーの紹介などを、綿密な取材をもとに時系列でまとめられたドキュメント。

尾見、脇田、岡部といったテレビでもお馴染みの面々の発言が細かく述べられています。かなり精緻な取材であり真実に近いのではと思います。

専門家会議は法律に紐づけられた組織ではなく身分保障も報酬も不明確な組織であり、そのような中でも、彼等専門家たちは昼夜を問わずパンデミックに立ち向かっているのがよくわかります。

ワイドショーがお気楽に彼らを非難し、私も多少なりともそれに同調していたことが恥ずかしくなりました。体調を崩して入院したり、脅迫電話がかかっていたり、襲われる恐怖を感じて家の表札を外したりと、メンバーの苦難も描かれています。官邸、官僚、専門家間の齟齬がおこる理由もこれを読むとよく分かります。尾見先生の強さは特筆すべきもので、大した人物だと改めて見直しました。

◆慈恵会グループ永年勤続表彰式

1月20日の表彰式では、30年勤続6名、20年勤続11名、10年勤続23名、5年勤続37名、計77名が表彰され、表彰状と賞品が授与されました。

新須磨病院が開設されたのが昭和35年です。その後、神戸総合医療専門学校、腎友会病院(現クリニック)、有料老人ホーム「エリーネス須磨」の開設までが昭和の時代。平成になってさらに施設は増え、現在は13施設、総職員数は800人の総合ヘルスケアを提供できる組織となりました。

慈恵会のことを「自分の会社」と思ってくれる職員が増えるほどに、安定した職場環境となり組織力が高まり経営にも好影響を及ぼすようになります。

コロナ禍で日々何かと問題があると思いますが、新旧の職員が協力しあい、この荒波を乗り越えていきましょう。我々はチームです。